

11/4月・祝
開催



町内小中学生は
参加料が無料!!



必ず学校を
通して
申し込みを
してね。

第8回 鏡石駅伝・ロードレース大会

第8回鏡石駅伝・ロードレース大会は、11月4日(月・祝)鳥見山陸上競技場をスタート・ゴールに開催されます。大会では、駅伝競走の部とロードレースの部13部門の申込みを受け付けております。

申込み方法などは次のとおりですので、町民の皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。

また、当日は沿道での応援や交通規制などご協力をお願いします。

参加料

- ①駅伝競走の部 ・1チーム 8,000円
- ②ロードレースの部 ・小・中学生 1,000円
- ※町内の小中学生は参加料免除となります。
- ・高校生・一般 2,000円
- ・親子 2,000円

※「親子の部」の子ども分の参加料は免除しています。

申込み方法 町公民館にある募集要項の「払込取扱票」に記入押印の上参加料を郵便局から振り込むか直接、公民館に持参してください。

申込期限 10月3日(木)

問い合わせ先 町公民館 ☎62-2031

駅伝競走の部 スタート予定時間 11:00

区間	競技者区分	距離
1区	女子(中学生以上:フリー)	3.4km
2区	男子(中学生又はシニア※)	5.0km
3区	男子(中学生以上:フリー)	5.0km
4区	女子(中学生以上:フリー)	3.2km
5区	男子(中学生以上:フリー)	5.0km
計		21.6km

※シニアは40歳以上となります。

ロードレースの部

部門	区分	距離	スタート 予定時間
第1部	小学校4年男子の部	2km	9:32
第2部	小学校5年男子の部	2km	9:36
第3部	小学校6年男子の部	2km	9:40
第4部	小学校4年女子の部	2km	9:20
第5部	小学校5年女子の部	2km	9:24
第6部	小学校6年女子の部	2km	9:28
第7部	中学校男子の部	5km	10:00
第8部	中学校女子の部	3km	9:50
第9部	一般男子Aの部(高校生以上39歳以下)	5km	
第10部	一般男子Bの部(40歳以上)	5km	10:10
第11部	一般女子(高校生以上)	5km	
第12部	親子の部(父と子:満3歳以上小学校3年生以下)	1.5km	9:00
第13部	親子の部(母と子:満3歳以上小学校3年生以下)	1.5km	

鏡石町文化講演会

町文化講演会実行委員会では、次の日程で文化講演会を開催します。お誘いあわせのうえご来場ください。

■講師 おおたわ 史絵 (内科医・作家)

■演題 「病まざる 老けざる ホンマの医学」

■日時 平成25年10月9日(木)

開場 午後5時30分

開演 午後6時30分

■場所 鏡石町鳥見山体育館

※上履きをご持参ください。

■入場整理券 500円(当日券はありません)

※枚数に限りがありますので、お早めにお求めください。

町公民館、町商工会、町内各金融機関などで販売中です。

■問い合わせ先

町公民館 ☎62-2031



おおたわ 史絵氏 プロフィール

- ・東京都下町出身
- ・東京女子医科大学卒業後、総合病院を経て、下町の医師の道を選ぶ
- ・1996年週刊朝日「デキゴトロジー」にて執筆活動を開始
- ・2005年医学生時代からの半生をつづった自叙伝的エッセイ「女医の花道」を出版し、ベストセラーになる
- ・山岳でのボランティア診療にも積極的にかわる
- ・国立高度専門医療研究センターの在り方に関する検討会委員
- ・出演しているテレビ「スッキリ!!」、「ホンマでっか!?TV」など



第15回 少年の主張 鏡石町大会

8月3日(土)、町図書館で第15回少年の主張町大会が開催され、小学生10人、中学生6人が出場し、約130人の聴衆者へ向けて日頃感じたことや考えていることなどを発表しました。

最優秀賞は、小学生の部が櫻田青空さん(一小6年)、中学生の部が矢吹花野さん(鏡中2年)の2人で、受賞した2人の作品を今月と来月に分けてご紹介します。

なお、中学生の部の最優秀賞の矢吹花野さんと優秀賞の添田奈津子さん、柳沼結衣さんの3人は、下郷町で開催される県大会に推薦されることとなります。

チカラをくれた人

鏡石中学校 二年
矢吹 花野 さん



中学生の部最優秀賞を受賞した矢吹花野さん

「頑張れ!」
この言葉がとてつもない力
をくれることを私は中学生に
なって実感しました。
私は陸上部に入部していま
す。陸上部にはたくさんの仲
間がいます。先輩、後輩の域
を越えて、仲間だと思いま
す。二年生の女子は少なく、
みんなとても仲がいいです。
陸上部は当然、毎日走りま
す。きつい練習をやるのはつ
らいですが、そんな時に声を
かけてくれたり、助けてくれ
るのは、仲間でした。
私は走り幅跳びを主にやっ
ています。走り幅跳びの女子
は私を入れて三人います。一
緒に気持ちを高めあえる、大
切な存在です。
今年の春、私はある大会の

走り幅跳びに出場しました。
もう一人の仲間と一緒に。
大会の結果は、目標として
いた八位入賞を果たしまし
た。でも、仲間は自己ベスト
記録を出し、上位入賞を果た
しました。正直、私はとても
悔しかったです。
学校に着くと私は泣いてい
ました。仲間が負けたことと
どこかで目標のレベルを下げ
ていた自分が悔しくて。そん
な私のそばに、もう一人の走
り幅跳びの仲間が来ました。
彼女は大会に出場できず、補
助員として動いていました。
「次の大会で頑張ればいい
じゃん。」
おもわぬ彼女からの言葉
に、私は顔を上げて驚きまし
た。なぜ、そんなことが言え

るのか不思議でした。だって
彼女は大会に出られなかった
のに自分のことより私のこと
を考えてくれたりしたから。
「今、悔しかったら、次の大
会で絶対勝てるよ。大丈夫
だ。」
彼女からの優しく、強い言
葉は、私の心の中にゆっくり
染みていき、涙が止まりませ
んでした。
「ありがとう。部活頑張ろう
ね。」
泣きながら私は言いまし
た。いつの間にかそらってい
た三人で、泣き、笑っていま
した。
彼女たちの存在や力強い言
葉があったから、私はまた頑
張ろうと思うことができました。
そして、上位入賞を果た
した仲間がいたから、彼女
を超える、という目標を掲げ
ることができました。
日々の部活の中でも、「頑
張れ」「ファイト」と声をか
けられるだけで、やる気が出
て、もっと速く走りたい、もっ
と遠くまで飛びたいと思うよ
うになります。
私は、仲間達がいるから、
この言葉のチカラに気づきま

した。どんなに苦しいことが
あろうと、どんなに悲しいこ
とがあろうと、仲間と一緒に
ら、のり越えられる気がしま
す。
「頑張れ」という、強く、輝
く言葉があるから。
私は仲間、たくさんの言
葉で、たくさんのチカラと、
たくさんの想いをもらいまし
た。だから仲間が困ったとき
やつらいときは、私なりの言
葉で、たくさんのチカラと、
たくさんの想いを、届けた
と思います。
あなたは私に 勇気をくれた
あなたは私に 真実をくれた
あなたは私に 笑顔をくれた
あなたは私に 幸せをくれた
あなたは私に 夢をくれた
あなたのその姿が
言葉が
掌が
私のチカラとなつて 生きて
いける
私はあなたに 何を与えまし
たか
あなたの記憶の中で
チナチナと与えた人として
残っていたい